





令和 5 年度最適化活動の目標及び目標に対する点検・評価

別紙様式4

1 最適化活動の成果目標		2 最適化活動の活動目標				3 点検・評価結果								
(1) 農地の集積	目標	集積率	%	98.0	1,750	1,689	96.5							
		農地面積	ha	A										
	実績	集積面積	ha	B										
		今年度末の集積率	%	C=B/A										
(2) 遊休農地の解消等	目標	緑区分別面積	ha	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		実績	ha	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	目標	黄区分解消工程表策定 (有無を記入)												
		実績												
(3) 新規参入の促進	目標	公同表面積	ha	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	
		実績	ha	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	
(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数	目標	活動日数	日	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
		実績	日	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
(2) 活動強化月間	目標	活動強化月間の実施回数	回	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		実績	回	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
(3) 新規参入相談会への参加	目標	新規参入相談会への参加回数	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		実績	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
農地利用最適化推進委員の人数			人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
最適化活動を行う農業委員の人数			人	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
農業委員会名		初山別村												
点検・評価結果		<p>農業委員会の点検・評価結果(評語)</p> <p>目標に対し期待を(やや)下回る結果となった</p> <p>目標に対し期待どおりの結果が得られた</p> <p>目標に対し期待を上回る結果が得られた</p> <p>目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた</p> <p>日々最適化活動を意識し、活動日誌に記録した結果、目標以上の実績があった。</p>												

## 令和 5 年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名： 北海道

農業委員会名： 初山別村

## I 農業委員会の状況(令和 5 年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 5 年 7 月 20 日

任期満了年月日 8 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	10	10
認定農業者	—	6
認定農業者に準ずる者	—	3
女性	—	—
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	0	0	0

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	65
農業経営体数	65

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	93
女性	39
40代以下	12

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	54
基本構想水準到達者	2
認定新規就農者	2
農業参入法人	1
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田		畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	829	921	238	1	682	1,750

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## II 最適化活動の実施状況

## 【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

## 1 最適化活動の成果目標

## (1) 農地の集積

## ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)/(A)	
		ha		ha		%
	1,750		1,597		91.3	
課題	・高齢化により農家数が減少している。 ・後期者不足による担い手の確保が困難であるため、遊休農地が増えることを危惧する。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	14	年度	集積率	98.0	%
今年度の新規集積面積	18	ha	農地面積(C)	1,750	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	1,615	ha	(目標)今年度末の集積率(E)=(D)/(C)	92.3	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	61	ha	農地面積(F)	1,750	ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	1,689	ha	今年度末の集積率(H)=(G)/(F)	96.5	%
目標に対する達成状況(H)/(E)	104.6	%			

農業委員会の点検結果	・高齢化が進み離農者が顕在化してきた。 ・水活等、農業情勢の混迷化により経営の先行きに不透明感が増した。
------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2)遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		うち緑区分の遊休農地面積
	0	ha	0
			うち黄区分の遊休農地面積
			0.0
			ha
遊休農地の発生が無いよう、農地の流動化を図っている。			

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和 5 年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	-	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	-	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和 5 年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地面積	-	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	-	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	-	ha
---------------------------	---	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	-	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	-	%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	-
-------------------------	---

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	-	ha
---------------------------	---	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期		
	令和 5 年10月		令和 5 年12月		
	1号遊休農地の面積	0.0	うち緑区分の遊休農地	0.0	ha
			うち黄区分の遊休農地	0.0	ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期		
	-		-		

農業委員会の点検結果	調査の結果、法第32条第1項に該当する荒廃農地と判断。
------------	-----------------------------



### (3)新規参入相談会への参加

#### ①目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	令和 5 年度	相談会名	北海道新規就農フェア
参加者数	1名	開催場所	札幌市
相談会の内容	北海道農業担い手センターが企画した本フェアに、JAるもい、農業委員、村担当者と共に参加。訪れた就農希望者に初山別村の農業情報をお知らせするとともに、疑問に対して回答した。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

#### ②実績

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	R5.3	相談会名	北海道新規就農フェア
参加者数	1名	開催場所	札幌市
相談会の内容	北海道農業担い手センターが企画した本フェアに、JAるもい、農業委員、村担当者と共に参加。訪れた就農希望者に初山別村の農業情報をお知らせするとともに、就農希望者の疑問に対して回答した。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

#### 目標の達成状況の評語

目標に対して、期待通りの結果が得られた。
----------------------

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

#### 【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	5
目標に対して期待どおりの結果が得られた	4
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入

### Ⅲ 事務の実施状況

都道府県名： 北海道

農業委員会名： 初山別村

#### 1 総会、部会の開催実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考(定例開催以外の理由)
総会	1		1	1		1			1	1		1	7 回開催

※ 総会又は部会の月ごとの開催回数を記入

#### 2 農地法第3条に基づく許可事務

1年間の処理件数		1 件		うち許可		1 件	
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 30 日	処理期間(平均)	25 日		
	総会開催日の公表	公告	申請書締切日の公表	締切日の規定なし			

#### 3 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

権限移譲の状況 (当てはまるものに○)	・農地法第4条第1項の規定に基づく指定市町村に指定							
	・地方自治法第252条の17の2第1項に基づき市町村長へ事務委任							
	○	・地方自治法第180条の2に基づき市町村長から農業委員会へ事務委任						
1年間の処理件数	1 件		うち許可相当	1 件		うち不許可相当	0 件	
処理期間	標準処理期間	申請書受理から	30 日		処理期間(平均)	21 日		

#### 4 違反転用への対応

現 状	管内の農地面積	年度末時点の違反転用面積
		1,750 ha
違反転用解消のために実施した活動内容	令和5年3月、現地を確認するとともに、土地所有者から聞き取りを行う。状況を把握し、総会で審議し北海道に報告。追認処理を行い、違反転用を解消。	
実 績	違反転用解消面積 1.3 ha	

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 違反転用面積は、管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定に違反して転用されている農地の面積を記入

※3 活動内容は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等について具体的に記入

令和 5 年度の事務の実施状況

別紙様式6

初山別荘

農業委員会名	1 総会・部会の開催実績			2 農地法第3条に基づく許可事務						3 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)				4 違反転用への対応			
	総会開催数	部会開催数	部会設置数	1年間処理件数	うち許可件数	標準処理期間(日)	処理期間(平均)	総会開催日の公表状況	申請締切日の公表状況	権限移譲の状況	1年間の処理件数	標準処理期間(日)	処理期間(平均)	管内の農地面積	違反転用面積	違反転用解消の実施した活動内容	違反転用面積
初山別荘	7	0	0	1	0	30	25	○		済み	1	30	21	1,750	1	令和5年3月、現地を確認するとともに、土地所有者から聞き取りを行う。状況を把握し、総会で審議し北海道に報告。追認処理を行い、違反転用を解消。	1

※1 権限移譲の状況欄は、農地転用許可の権限を有する者について、「都道府県知事」、「指定市町村」、「市町村長」、「農業委員会」のいずれかを記入

※2 都道府県は、農業委員会から報告のあった本表を取りまとめ報告